

## 武蔵野市第三次男女共同参画計画推進状況報告書(事業実績)【指導課分】

基本目標		【評価基準について】 ＜主管課の自己評価＞ A: 順調または目標達成 B: 概ね順調だが、さらに工夫が必要 C: 検討が必要 D: 実施せず					次期計画での区分 ・「継続」…現状維持 ・「充実」…規模の拡大や質の改善を図るなど ・「見直し」…規模の縮小、今後実施の見込みがないなど ・「終了」…次期計画には掲載しないもの			数値は、計画終了年度の「令和5年度時点」での目標数値		
基本施策		事業名	事業概要	区分	主管課	平成30年度事業予定	平成30年度事業実績	評価	次期計画での区分	事業の対象者	数値目標の有無	数値目標
基本目標 I 男女平等の意識を育むまち（新規:1/継続:8/充実:3）												
基本施策2 男女平等教育の推進												
(1)男女平等の視点に立った学校教育の推進												
6	男女平等教育の推進	道徳教育、人権教育を中心に、男女が互いに理解、協力し、高め合う教育を推進する。	継続	指導課	人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、道徳教育を含めた各教科等で、計画的に男女平等教育を行っていく。	特別の教科道徳では、小学校第5学年では理解し合って協力する心情を小学校第6学年では異性について理解し、互いに信頼し学び合っ	B	継続	市民	無		
7	人権尊重教育の推進	人権教育推進委員会において人権教育に関する指導資料等を作成し、人権尊重・男女平等教育を推進する。	継続	指導課	市人権教育推進委員会を年間5回開催し、引き続き、研修を行っていく。児童・生徒への人権尊重・男女平等教育についての指導の在り方等、市内教員の理解を深める。	市人権教育推進委員会では喫緊の課題である主に「いじめ」について取り上げたが、多様性の理解や一人一人の人権が尊重される指導に資するよう報告書をまとめた。	B	継続	市	無		
8	生活指導や進路指導の充実とキャリア教育の推進	個性尊重、男女平等の視点から生活指導や進路指導を行うとともに、キャリア教育として望ましい職業観・勤労観を育成する。	継続	指導課	引き続き、進路指導担当者会で、キャリア教育をテーマとした研修会を行う。職業調べや職場体験学習に留まらず、多様な生き方を主体的に考えられるよう、キャリア教育を推進する。	年間指導計画に基づき自分のよさや友達のよさを認め合い、励まし合ったり、自分と異なる意見を理解し、相手の立場になって考え行動しようとする力を育てた。全中学校の第2学年で、生徒の希望を生かした、3日間の職場体験学習を実施した。	B	継続	市民	無		
9	教職員への研修の充実	教職員に対し男女共同参画についての理解を深めるため、研修を充実させる。	継続	指導課	引き続き、東京都教育委員会主催の人権教育に関する研修への全校の管理職、主幹教諭等及び進路指導担当者の参加とともに、人権尊重教育推進校の研究・実践等に関するブロック連絡会に参加する。また、人権教育プログラムを活用した校内研修を全校で実施する。	東京都教育委員会主催の研修では、多くの副校長が「性的マイノリティー」をテーマとした研修会に参加した。自分を大切にすることやインターネットでの人権侵害を取り上げた研修会に参加した。加えて、人権教育プログラムを活用した校内研修を全校で実施した。	B	継続	市	無		

## 武蔵野市第三次男女共同参画計画推進状況報告書(事業実績)【指導課分】

基本目標		【評価基準について】 ＜主管課の自己評価＞ A:順調または目標達成 B:概ね順調だが、さらに工夫が必要 C:検討が必要 D:実施せず					次期計画での区分 ・「継続」…現状維持 ・「充実」…規模の拡大や質の改善を図るなど ・「見直し」…規模の縮小、今後実施の見込みがないなど ・「終了」…次期計画には掲載しないもの			数値は、計画終了年度の「令和5年度時点」での目標数値	
基本施策											
施策											
事業名	事業概要	区分	主管課	平成30年度事業予定	平成30年度事業実績	評価	次期計画での区分	事業の対象者	数値目標の有無	数値目標	
10	発達の段階を踏まえた性に関する指導の適切な実施	継続	指導課	引き続き、小学校での保健、中学校での保健分野などの学習とも関連させて、人権教育の視点に立った性に関する適正な指導を行うよう、周知・徹底する。	小学校では、体の発育・発達や思春期の体の変化について指導し、発育の違いなどについて肯定的に受け止めることが大切であることに触れた。中学校では、教科書を活用し、生殖に関わる機能の成熟について指導した。	B	継続	市民	無		
基本施策3 男女共同参画の視点に立った表現の浸透											
(1)メディア・リテラシーの向上											
11	メディア・リテラシーを高める学習や講座の開催	継続	生涯学習スポーツ課	武蔵野地域五大学等の協力を得て講座等を開催する。	武蔵野地域五大学の協力を得て、自由大学講座2講座、武蔵野市寄付講座5講座、武蔵野地域五大学共同講演会6講演会、武蔵野地域五大学共同教養講座5講座などを実施した。	A	継続	市民	無		
			指導課	引き続き、教職員のリテラシーの向上を図るとともに、児童・生徒の情報モラル教育の充実を図る。	メディアリテラシーに関する各校の授業実践等について情報共有し、教職員のリテラシー向上を図るとともに、SNS学校ルールやSNS家庭ルールづくり等、児童・生徒の情報モラル教育の充実を図った。	B	継続	市民	無		
			男女平等推進担当	講座「夜活★むさしのメディア塾 Vol.2」を実施する。	講座「夜活★むさしのメディア塾 Vol.2メディア報道を読み解く」を実施した(参加者21人、託児1人)。	B	継続	市民	無		
基本目標Ⅱ 生活と仕事が両立でき、個性と能力を発揮できるまち (新規:3/継続:21/充実:14)											
基本施策4 あらゆる分野への女性の参画の推進											
(1)政策・方針決定の場への女性の参画の促進											
41	女性教員の管理職試験受験の推奨	継続	指導課	教職員の配置は東京都教育委員会が行うが、市としては引き続き女性教職員の管理職選考の受験を奨励する。	平成30年度の女性の校長・副校長の割合は、36名中15名で41.7%である。令和元年度の割合も、36名中15名で41.7%である。	B	継続	市	無		

武蔵野市第三次男女共同参画計画推進状況報告書(事業実績)【指導課分】

基本目標							【評価基準について】 ＜主管課の自己評価＞ A:順調または目標達成 B:概ね順調だが、さらに工夫が必要 C:検討が必要 D:実施せず	次期計画での区分 ・「継続」…現状維持 ・「充実」…規模の拡大や質の改善を図るなど ・「見直し」…規模の縮小、今後実施の見込みがないなど ・「終了」…次期計画には掲載しないもの	数値は、計画終了年度の「令和5年度時点」での目標数値	次期計画での区分	事業の対象者	数値目標の有無	数値目標
基本施策													
施策													
事業名	事業概要	区分	主管課	平成30年度事業予定	平成30年度事業実績	評価							
基本施策5 男性の家庭・地域活動への参画推進													
(1)男性の子育て、介護、地域活動等への参画促進													
50	PTA活動への男性の参加促進	PTA活動に男性の参加を促進するための働きかけに努める。	継続	指導課	引き続き校長会等を通して、男性PTA会員のPTA活動への参加を働きかける。	土曜日等の学校公開を実施するなどして、男性が学校に関わりやすい機会を設けた。	B	継続	市民	無			
				生涯学習スポーツ課	引き続き校長会等を通して、男性PTA会員のPTA活動への参加を働きかける。	校長会等を通して、男性PTA会員のPTA活動への参加を働きかけた。今年度の男性PTA会長は8名だった。	A	継続	市民	無			
基本目標Ⅲ 人権を尊重し、あらゆる暴力を許さないまち(新規:7/継続:34/充実:1)													
基本施策3 特別な配慮を必要とする人への支援													
(3)性同一性障害のある人などへの支援													
86	学校教育における個別的支援	性同一性障害などについて、児童生徒の人権の尊重を最大限に考慮し、ニーズに基づいた個別対応を行うとともに、いじめにつながらないよう、教育相談と連携し、配慮する。	継続	指導課	引き続き、性同一性障害等に配慮した適切な指導ができるよう、東京都の人権教育指導推進委員会での内容や資料の情報を共有する。また、スクールカウンセラーや市派遣相談員と連携し、個別的支援の充実を図る。	性同一性障害等に配慮した適切な指導ができるよう、都教育委員会の人権教育プログラムを活用した校内研修を行った。スクールカウンセラーや市派遣相談員と連携し、個別的支援の充実を図った。	B	継続	市民	無			